学校番号	T3017

令和８年度　学校設定教科

教科	(学)将来設計	科目	(学) 将来設計	単位数	2 単位	年次	3 年次(3 年制) 4 年次(4 年制
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活に結び付く知識・技術を学びます。また、将来一人暮らしを考えている人に役立つことを学びます。※食物アレルギーがある人は、必ず申し出てください。
・言葉で表現することの楽しさを味わう創作活動や、言葉で的確に伝えるための工夫など、実生活において力となる技術を身につけましょう。最近はコンテストに応募もしています。
※調理実習があるので、アレルギーがある人は必ず伝えてください

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
家計の構造など生活に直接かかわる事柄を理解し、生活情報の収集や整理が適切にできる。また、生活に関わる漢字や言葉、計算を習得し、活用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
実生活から課題を発見し、実践を通して改善し、相手に伝える力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
課題解決にむけて他者に相談したり、助言したりしながら、コミュニケーションを積極的に取ろうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家計の構造など生活に直接かかわる事柄を理解し、生活情報の収集や整理が適切に行おうとしている。また、生活に関わる漢字や言葉、計算を習得し、活用している。	実生活から課題を発見し、実践を通して改善し、相手に伝える力を養うことができる。その際、目的や機能に応じた適切な言葉や表現の工夫ができている。	実生活において直面する課題に対して、積極的に改善に取り組んだり、自分事として考えようとしたりしている。また、課題解決にむけて他者に相談したり、助言したりしながら、コミュニケーションを積極的に取ることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	伝える力・表現する力	特徴を捉えて伝える	a:情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 b:情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解し、実践することができる。 c:書いたものを進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。	プリント	プリント	プリント
		購買意欲促進広告の作成	a:表記・表現の基本ルールを理解する。 b:目的に沿って、相手を想定し、的確に表現する方法を理解する。 c: 説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な商品の広告を書こうとしている。	プリント	プリント	プリント
後期		調理実習 年 10 回予定	a: 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。 b:食品選択や献立作成など、実際の食事づくりに向けての正しい判断ができる。 c:自分自身の食生活について関心をもつとともに、意欲的に改善・向上に努めようとする。	プリント	プリント	プリント
		作品製作	a: 縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 b: テーマに応じて、材料を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、作品を作ることができる。 c:デザインを一から考え、作品制作に積極的に取り組んでいる。	プリント	作品	プリント 作品

		オリジナル作品製作	a:オリジナル作品の大切さを理解している。また、用具などの使い方も適切にできる。 b:いつ誰にどのようにと、伝えたいことなど、発想や構想を練り、オリジナル作品を作ることができる。 c: オリジナル作品を作るためにどのようにしたらよいか、振り返り、改善して、意欲的に取り組んでいる。	プリント	プリント 作品	プリント 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度